

<<眼球譚>>

图书基本信息

<<眼球譚>>

内容概要

出版社/著者からの内容紹介

つねに鋭い人間探求をめざしつつエロスと死の深淵にさまよい、
特異な文学世界を創りあげた奇才バタイユの全貌をここに集大成。
著作集全15巻。

浅田 彰氏 推薦

バタイユは燃え上がる。
この彗星は、今夜もまた、ヘーゲルとニーチェの傍をよ
ぎって異様な輝きを放つ。
二人の巨人の間で微妙な振動をくりかえすその軌跡を
たどることから、現代思想のすべてが始まるだろう。

処女作「眼球譚」ほか三篇！

著者のエロティシズムの思想を的確に具現化した初期の短編集！
--このテキストは、単行本版に関連付けられています。

内容（「BOOK」データベースより）

一九二八年にオーシュ卿という匿名で地下出版されたバタイユの最初の小説。
本書は、著者が後に新版として改稿したものと比べて全篇にわたって夥しい異同がある。
サド以来の傑作と言われるエロティシズム文学として、「球体幻想」を主軸に描き上げた衝撃作で
あり、二十世紀の文学史上、最も重要な異端文学のひとつとして評価され続けている。

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>